書式第１２号（法第２８条関係）

令和3年度　事業報告書

令和３年４月１日から令和４年３月３１日まで

特定非営利活動法人セカンドチャンス！

１　事業の成果

☆地域交流会

去年に引き続き、新型コロナウィルスの影響で休止とする地域が多かったですが、少しずつ工夫しながら開催できる地域も出てきました。休止期間は、その間、各地地区リーダーが個別で対応、SNSなどを活用し、つながりを継続していきました。

☆講演

少年院での活動についても新型コロナウィルスの影響がありましたが、機会をいただいた少年院では、腐らず何とか頑張っていこう。という応援メッセージを伝えに行きました。その他の講演においても、依頼をいただいた所で、少年院出院者の生き直しやセカンドチャンス！の活動についてお話させていただきました。

☆その他

・理事会、全国運営会議(7月、2月)を開催し、運営メンバーで今後の活動について話し合いました。交流会の実施状況や個別対応について共有したり、法務省と協同で少年院在院生の質問にセカンドチャンス！メンバーが答えていくというガイドブックを作成したり、少年院内での院内交流会を強化したり、ZOOMなどを活用したオンラインの充実やホームページリニューアル、次世代への運営引継ぎなど、今、すべきこと、出来ることについて話し合い、進めてまいりました。また、全国当事者専用LINEグループ(約100名参加)や地区グループLINEグループなどでもつながりを継続しています。

・2021年12月19日に守屋賞を受賞させていただきました。一人の少年院出院者として、当事者活動をしている者として本当に感謝の気持ちでいっぱいになりました。運営メンバー、サポーターと喜びを分かち合い、より一層愚直に活動していこうと思いました。

２　事業の実施に関する事項

（１）特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人	事業費の金額（千円）
少年院出院者の支援活動に関する事業	地域での交流会および交流会リーダーとサポーターによる運営会議を行いました。	地域交流会→各地計10回 全国会議→2回	東京、 神奈川、 長野、 福岡、 佐賀、	10人	少年院出院者、刑務所出所者、その他施設経験者など	47.54
同上	少年院で院生や法務教官、保護者に対して講演、院内交流会、面接などをさせていただきました。	計15回	駿府学園、湖南学院、茨城農芸学院、有明高原寮、福岡少年院、大分少年院、人吉農芸学院など	10人	少年院入院者、その他	
少年院出院者の支援にかかる啓発活動に関する事業	関連団体、行政機関等で講演をさせていただいたり、当事者としてヒアリングを受けさせていただきました。	計5回程度(少年院以外)	保護観察所高等科研修、中学校人権講演会、更生保護女性会研修、大学犯罪社会学講義など	5人	一般人・不特定多数	80

書式第１３号（法第２８条関係）

事業報告用

令和３年度　活動計算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人　セカンドチャンス！

（単位：円）

科目	金額	小計・合計
【A】　経常収益		
1　受取会費		63,000
正会員受取会費	63,000	
賛助会員受取会費		
2　受取寄附金		267,100
受取寄附金	259,000	
施設等受入評価益		
謝礼金	8,100	
3　受取助成金等		200,000
受取補助金		
副賞金	200,000	
4　事業収益		0
事業収益		
事業収益		
5　その他の収益		8
受取利息	8	
経常収益計		530,108
【B】　経常費用		
1　事業費		
（1）人件費		0
給料手当		
役員報酬		
退職給付費用		
福利厚生費		
（2）その他経費		128,365
会議費		
旅費交通費	47,540	
施設等評価費用		
減価償却費		
印刷製本費		
ホームページ作成費	80,000	
振込手数料	825	
事業費計		128,365
2　管理費		
（1）人件費		115,748
役員報酬		
給料手当		
退職給付費用		
福利厚生費		
事務業務費	55,308	
会計業務費	60,000	
振込手数料	440	
（2）その他経費		28,109
消耗品費		
水道光熱費		
通信運搬費	28,109	
地代家賃		
旅費交通費		
減価償却費		
管理費計		143,857
経常費用計		272,222
当期経常増減額　【A】－【B】　・・・①		257,886
【C】　経常外収益		
固定資産売却益		
過年度損益修正益		
経常外収益計		0
【D】　経常外費用		
固定資産売却損		
災害損失		
過年度損益修正損		
経常外費用計		0
当期経常外増減額　【C】－【D】　・・・②		0
税引前当期正味財産増減額　①＋②　・・・③		257,886
法人税、住民税及び事業税　・・・④		0
前期繰越正味財産額　・・・⑤		801,813
次期繰越正味財産額　③－④＋⑤		1,059,699

書式第１５号（法第２８条関係）

事業報告用

令和３年度　貸借対照表

特定非営利活動法人　セカンドチャンス！

（単位：円）

科目	金額	小計・合計
【A】　資　産　の　部		
1　流動資産		
現金預金	1,059,699	
未収金		
棚卸資産		
流動資産合計　・・・①		1,059,699
2　固定資産		
（1）有形固定資産		0
車両運搬具		
什器備品		
（2）無形固定資産		0
ソフトウェア		
借地権		
（3）投資その他の資産		0
敷金		
長期貸付金		
固定資産合計　・・・②		0
【A】資　産　合　計　①+②		1,059,699
【B－1】　負　債　の　部		
1　流動負債		
未払金		
預り金		
流動負債合計　・・・③		0
2　固定負債		
長期借入金		
退職給付引当金		
固定負債合計　・・・④		0
負　債　合　計　③+④		0
【B－2】　正　味　財　産　の　部		
前期繰越正味財産額	801,813	
当期正味財産増減額	257,886	
正　味　財　産　合　計		1,059,699
【B】　負　債　及　び　正　味　財　産　合　計　【B－1】＋【B－2】		1,059,699

書式第１６号（法第２８条関係）

令和３年度　計算書類の注記　事業報告用

特定非営利活動法人　セカンドチャンス！

１．　重要な会計方針
計算書類の作成は、　によっています。

（1）棚卸資産の評価基準及び評価方法　該当なし

（2）固定資産の減価償却の方法　該当なし

（3）引当金の計上基準
・退職給付引当金　該当なし

・　引当金　該当なし

（4）施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理　該当なし

（5）消費税等の会計処理　該当なし

２．　事業別損益の状況

（単位：円）

科目	出院者の支援事業	支援にかかる啓発事業	事業	事業	事業部門計	管理部門	合計
Ⅰ　経常収益							
１．受取会費	63000					63000	63000
２．受取寄附金	267100				267100		267100
３．受取助成金等		200000			200000		200000
４．事業収益							
５．その他収益	8					8	8
経常収益計							530108
Ⅱ　経常費用							
（1）人件費							
給料手当							
役員報酬							
事務業務費						55308	55308
会計業務費						60000	60000
振込手数料						440	440
人件費計							128365
（2）その他経費							
会議費							
旅費交通費	47540				47540		47540
施設等評価費用							
減価償却費							
通信運搬費						28109	28109
HP作成費		80000			80000		80000
振込手数料	605	220			825		825
その他経費計							143857
経常費用計							272222
当期経常増減額							257886

３．　施設の提供等の物的サービスの受入の内訳　該当なし

（単位：円）

内容	金額	算定方法

4．　使途等が制約された寄附金等の内訳　　該当なし

使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。
当法人の正味財産は　　円ですが、そのうち　　円は、下記のように使途が特定されています。
したがって使途が制約されていない正味財産は　　円です。

（単位：円）

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
合計					

5．　固定資産の増減内訳　　該当なし

（単位：円）

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
車両運搬具						
什器備品						
・・・・・・・・・・						
無形固定資産						
・・・・・・・・・・						
投資その他の資産						
敷金						
・・・・・・・・・・						
合計						

6．　借入金の増減内訳　　該当なし

（単位：円）

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
合計				

7．　役員及びその近親者との取引の内容　　該当なし

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

（単位：円）

科目	計算書類に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配法人との取引
（活動計算書）			
活動計算書計			
（貸借対照表）			
貸借対照表計			

8．　その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

・　事業費と管理費の按分方法

・　その他の事業に係る資産の状況

書式第１７号（法第２８条関係）

事業報告用

令和３年度　財産目録

特定非営利活動法人　セカンドチャンス！

（単位：円）

科目	金額	小計	合計
【A】 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
手元現金	0		
三菱UFJ銀行普通預金	1,059,699		
		1,059,699	
未収金	0		
		0	
棚卸資産	0		
		0	
流動資産合計 ・・・①			1,059,699
2 固定資産			
（1）有形固定資産			
車両運搬具	0		
		0	
什器備品	0		
		0	
（2）無形固定資産			
ソフトウェア	0		
		0	
借地権	0		
		0	
（3）投資その他の資産			
敷金	0		
		0	
長期貸付金	0		
		0	
固定資産合計 ・・・②			0
【A】資産合計 ①+②			1,059,699
【B－1】 負債の部			
1 流動負債			
未払金	0		
		0	
預り金	0		
		0	
流動負債合計 ・・・③			0
2 固定負債			
長期借入金	0		
		0	
退職給付引当金	0		
		0	
固定負債合計 ・・・④			0
【B－1】負債合計 ③+④			0
【B－2】正味財産合計 【A】－【B－1】			1,059,699

書式第１８号（法第２８条関係）

事　業　報　告　用

令和３年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人　セカンドチャンス！

１　確認事項（法第２０条及び第２１条を確認の上、チェックを入れてください。）

☑以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第２０条関係）
☑各役員について、親族の規定に違反していません。（法第２１条関係）

２　役員一覧

	役　名 どちらかに○	（フリガナ） 氏　　名	[redacted]	前事業年度内の就任期間	報酬を受けた期間 （該当者のみに記入）
1	（理事）・監事	サイモン　タツシ 才門辰史		令和３年４月１日 ～ 令和４年３月３１日	年　月　日 ～ 年　月　日
2	（理事）・監事	トミザワ　ミサト 冨澤美里		令和３年４月１日 ～ 令和４年３月３１日	年　月　日 ～ 年　月　日
3	（理事）・監事	トミオカ　ダイゴ 富岡大悟		令和３年４月１日 ～ 令和４年３月３１日	年　月　日 ～ 年　月　日
4	（理事）・監事	ナカムラ　ヨシヒロ 中村恵大		令和３年４月１日 ～ 令和４年３月３１日	年　月　日 ～ 年　月　日
5	（理事）・監事	マツオ　マサト 松尾昌人		令和３年４月１日 ～ 令和４年３月３１日	年　月　日 ～ 年　月　日
6	理事・（監事）	キド　ユウコウ 城戸雄光		令和３年４月１日 ～ 令和４年３月３１日	年　月　日 ～ 年　月　日
7	理事・監事			年　月　日 ～ 年　月　日	年　月　日 ～ 年　月　日
8	理事・監事			年　月　日 ～ 年　月　日	年　月　日 ～ 年　月　日
9	理事・監事			年　月　日 ～ 年　月　日	年　月　日 ～ 年　月　日
10	理事・監事			年　月　日 ～ 年　月　日	年　月　日 ～ 年　月　日

書式第４号（法第１０条・第２８条関係）

設立・事業報告用

社員名簿（社員のうち１０人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人　セカンドチャンス！

	氏　　名	
1	才門辰史	[redacted]
2	山中多民子	
3	杉浦ひとみ	
4	小長井賀與	
5	春野すみれ	
6	城戸雄光	
7	松尾昌人	
8	冨澤美里	
9	富岡大悟	
10	中村恵大	
11		
12		